

整理番号	HT27146	分野	歴史・その他	キーワード:古代鑄造技法
------	---------	----	--------	--------------

## 富山大学

### どうして古代に青銅鏡の細かい文様が鑄造できたのか—体験：鏡観察、鑄型彫り、鑄造—

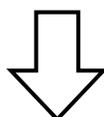
先生(代表者)	三船温尚(みふね はるひさ)富山大学芸術文化学部・教授			
自己紹介	専門は鑄造で青銅の彫刻や工芸品を制作することでしたが、20年前から古代鑄造技法の研究を始めました。研究者の中でもめずらしい経歴です。庭の芝刈りや、朝顔を植えて緑のカーテンを作ることが趣味です。雨の日も雪の日も、風に吹かれて自転車で大学に通っています。身近に季節があって楽しいです。			
開催日時・ 主な募集対象	平成27年8月9日(日曜日)	(対象)	中学生・高校生	(人数) 25名
集合場所・時間	富山大学高岡キャンパス TUMAMA ホール	(集合時間)	10:00	
開催会場 (集合場所)	富山大学 高岡キャンパス 住所: 〒933-8588 富山県高岡市二上町 180 番地 アクセスマップ: <a href="http://www.tad.u-toyama.ac.jp/">http://www.tad.u-toyama.ac.jp/</a>			
<b>内 容</b>				
<p>青銅鏡は、古代の科学技術によって、映りが良い調合の青銅で、今では復元が難しい細かい文様が鑄造されました。文様鑄造技術は研究者が議論してきましたが、分からないままでした。近年、中国で鑄型が大量に発見され、詳しい鑄型の材質が分かってきました。授業では、2千年前の鑄型や青銅鏡に触れ、材質や断面、文様を観察し、調査の実際を体験します。さらに、実際に、鏡破壊実験や、鑄型の文様彫り実験を体験し、自分で彫った鑄型に、古代と同じ成分の青銅を流し込み、青銅鏡を鑄造します。でも、ある裏ワザを使わなければ、古代と同じ精緻な文様は鑄造できません。大学の研究者と一緒に古代の裏ワザを考えてみませんか。</p>				
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
9:40~10:00 受付(富山大学高岡キャンパス TUMAMAホール集合)			昼食、筆記用具、メモ帳、作業着、作業靴、タオル	
10:00~10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)				
10:20~10:50 講義①「青銅鏡成分の銅と錫の秘密」 (10分休憩)			(防塵マスク、軍手など、鑄造に必要なものは大学が準備します)	
11:00~11:30 講義②「青銅鏡の文様観察—鑄造技術の頂点—」				
11:30~12:30 昼食・休憩(大学食堂は休み。昼食をご持参ください)			<b>特 記 事 項</b>	
12:30~13:30 観察「2千年前に出土した鑄型と鏡を観察してみよう」 (10分休憩)			定員を越えましたら抽選といたします。結果は後日郵送でご連絡いたします。	
13:40~14:40 実験①「出土鑄型と同じ材質に文様を彫ってみよう」				
14:40~15:00 クッキータイム・ディスカッション				
15:00~16:05 実験②「文様を彫った鑄型に鑄造してみよう」				
16:05~16:30 論文作成「観察と鑄造実験結果の論文要旨作成」				
16:30~17:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)				
17:00 終了・解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム 伊織洋平
住所：	〒933-8588 富山県高岡市二上町 180 番地
TEL 番号：	0766-25-9137
FAX 番号：	0766-25-9212
E-mail：	tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp
申込締切日：	平成27年7月22日(水曜日)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
三船温尚	H25～28	基盤研究(B)	25284039	3D スキャン・材料分析・鑄造実験の複合手法による青銅器微細文様の表出に関する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。